

## 宿曜経の人間関係について ( <sup>さんく</sup>三九の法)

### 命宿 (自分と同じ宿星の相手)

お互い裏も表もわかるので、どちらかという付き合いにくい相手。長期間一緒にいると、苦痛を感じてくる。相手を自分の分身のように思えば良いが、まるで鏡を見ているように相手の長所も短所も見えすぎてしまう。やたらに張り合う場合もある。和善宿(觜角房奎) 安重宿(壁斗翼畢) なら、穏やかな宿同士なのでそれほどでもない。

### 胎、業 (同じグループ)

徐々に親しくなって、徐々に離れていく関係。時間をおいて周期的に会う分には問題ない。結婚や共同事業などはあまり向かない。一説には、自分の前世と来世の姿とも言われている。

### 栄親 (発展する関係・親しむ関係)

すぐ隣同士の「栄親」は、出会った瞬間から気が合うが、距離が近すぎ、礼儀を欠いたり、プライバシーに首を突っ込むことになる。中距離の「栄親」はバランスが取れていて一番問題がない。距離が遠い場合、仲は悪くないが、あまり接近しない関係。共同事業や結婚はあまり見られない。

### 友衰 (似たもの同士・与える関係)

友人、恋人にはよい。積極的に一緒に組んで何かをやるという深い仲にはなりにくい。趣味や興味の対象などが同じ場合が多い反面、異質な部分が浮き彫りになりやすいので、お互い異質な部分をどこまで理解することができるかがカギを握る関係。共同事業や金銭のやりとりが発生すると関係は歪んでくる。

### 安壊 (勝てる関係・負ける関係)

最もよくない組み合わせ。「安」の何気ない仕草が「壊」の人には重く圧迫と感じる。「壊」の相手と戦っても、勝てない。この関係で親友同士の間柄もあり、仲が悪いというよりも、運の組み合わせが悪いとみる場合もある。「安壊」の関係で商売を始めたとしても、運の運びのアンバランスからだめになる可能性が高い。近距離の場合、名コンビのケースもある。お互いが自立した関係なら問題ない。中距離は、深く知り合うにしたがって次第に強い反発を感じてくる。遠距離は、破壊作用が出るのが遅いが、一回その作用が出てしまうと、修復は難しい。

### 危成 (異質な関係・依存しない関係)

まったく異質な宿同士で、お互いがない持ち味があり惹かれあう。基本的には親しみを感じるまでには行かない。お互いの役割がはっきり分かれているような関係ならおもしろい組み合わせとなる。本命の真反対にある遠距離の危成は、出会うと急激に吸引力を発揮するので、男女の恋愛などは一気に燃え上がる。しかし、異質な者同士なので、熱が冷めたらあっさりと別れてしまうこともある。少し時間をおいて相手をよく知ってからコトを進めたほうがよい。

大切なのは、こういった関係を知った上で、すべての宿と、サラサラとした交流ができることです。